

担当課

農業政策課

1

平成30年2月現在におけるHACCP普及推進や食品の安全・安心に関わる取組み状況（例：GAPに対する取組み状況，12次産業化関係など）

政策の体系

事業名等	農業生産工程管理（GAP）手法普及推進事業
目的	安心・安全な農産物の販路や輸出のさらなる拡大に向けて、農業者の認証GAP取得や農協等のGAP普及に係る取組を支援する
基本方針	GAP手法の普及推進
施策	GAP推進研修会開催、認証GAP取得等に係る経費助成

（概要）

新潟市農業生産工程管理（GAP）手法普及推進事業【市単独補助事業】

- ・GAP手法研修会の開催経費
 - ・GAPの作成経費
 - ・JGAP指導員の資格取得経費
 - ・JGAP及びグローバルGAP認証の取得経費
- ※補助率2分の1以内（上限事業費500万円未満）

GAP「よい（Good）」「農業の（Agricultural）」「実践（Practice）」

「食品安全」「農産物品質」「農作業事故」「環境保全」「消費者信頼」などの視点により、農業生産活動に潜むリスク（危険度）を把握して対応策を講じるとともに、習慣になっていた「不適切な農業の行為」があればそれらを改善することで、未来に向けて安定した経営管理を続けるために取り組むもの。

2	平成30年度におけるHACCP普及推進や食品の安全・安心に関わる取組み計画（例：GAPに対する取組み状況，12次産業化関係など）
---	--

政策の体系

事業名等	農業生産工程管理（GAP）手法普及推進事業
目的	安心・安全な農産物の販路や輸出のさらなる拡大に向けて、農業者の認証GAP取得や農協等のGAP普及に係る取組を支援する
基本方針	GAP手法の普及推進
施策	認証GAP取得等に係る経費助成

（概要）

新潟市農業生産工程管理（GAP）手法普及推進事業【市単独補助事業】

- ・ JGAP指導員の資格取得経費
 - ・ JGAP及びグローバルGAP認証の取得経費
- ※補助率2分の1以内（上限事業費500万円未満）

3	その他
---	-----

（今後の対応方向）

東京オリパラ競技大会を契機として、将来的に小売り・流通業者らの仕入条件としてGAPの実践が求められる可能性から、今後も市内産農産物の販路拡大等に向けて取組を推進

（市内農業者の認証状況）

	件数	認証品目
JGAP認証	7件	米、トマト、みつば、こまつな、ねぎ
グローバルGAP認証	3件	米、トマト、ニンジン

※H30.2.20現在 農業政策課調べ